



2024年11月28日

NITE (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北 陸 支 所

News Release

ホコリも積もれば事故となる

～年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく～

(北陸3県版)

1. 事故の発生状況

2019年度から2023年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）における配線器具^{※2}の事故が6件^{※3}あり、そのうち、火災に関する事故が5件ありました。

(※1)：消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

(※2)：コンセント、延長コード及びテーブルタップ

(※3)：重複、対象外情報を除いた事故発生件数

表1 県別年度別発生件数（2019～2023年度）

事故発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2019年度		1	0	0	1
2020年度		0	1	1	2
2021年度		1	2	0	3
2022年度		0	0	0	0
2023年度		0	0	0	0
合 計	事故件数	2	3	1	6
	うち火災件数	[2]	[2]	[1]	[5]

表2 県別被害状況別発生件数 (2019~2023年度)

被害状況※4		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	1	1
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害※5	1	2	0	3
	製品破損	1	1	0	2
被害なし・不明		0	0	0	0
合計		2	3	1	6

(※4) : 物的被害があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。

(※5) : 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」として扱います。

2. 製品事故事例

(1) コンセント(最大消費電力を超える電気製品を接続して発火)

・2019年4月(富山県、70歳代、男性、製品破損)

【事故の内容】

コンセント及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

送り配線された別のコンセントに接続可能な最大電力(1500W)を超えて複数の電気製品を接続し使用していたため、送り配線と刃受金具の接触部で異常発熱し、周囲の樹脂が焼損したものと推定される。なお、長期使用(28年3か月)により、送り配線の接触部で接触抵抗が増加していたことも事故発生に影響したものと考えられる。

(2) テーブルタップ(内部に水分が浸入し、腐食による接触不良が生じて発火)

・2020年8月(石川県、40歳代、男性、拡大被害)

【事故の内容】

テーブルタップを使用中、電源タップ付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

亀飼育用ケースの近くに置かれていた電源タップの内部にペット(亀)の尿が浸入したため、刃受け金具と接続していた電源プラグ栓刃との間で腐食による接触不良が生じ、異常発熱して焼損したものと推定される。

(本件に関する問い合わせ先)

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 吉田、塚谷

電話 : 076-231-0435

以上